

第108回 海洋教育フォーラム



開催テーマ

浮体式洋上風力は、今、どこまで来ているのか？ ～世界と日本の動き、そして私たちの未来～

参加無料

2025 **12.13 SAT** 13:00-17:35
開場 12:30

会場 **出島メッセ長崎** 2階 コンベンションホール
(長崎市尾上町4-1 JR長崎駅隣接)

オンライン同時配信の申込も受付中！

参加・オンライン視聴の申込はコチラから
(オンデマンド配信のお知らせメール予約)



主催

産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム(IACOW)/長崎大学、秋田大学、秋田県立大学、北九州市立大学、千葉大学、新潟大学、国際教養大学、東北公益文科大学、三菱商事洋上風力、JERA NEX BP、東京電力リニューアブルパワー、九電みらいエナジー、中部電力、ENEOSリニューアブル・エナジー、RWE、東北電力、住友商事、COP)、日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会 海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会、長崎大学研究開発推進機構、長崎オープンイノベーション拠点、長崎大学海洋未来イノベーション機構、長崎総合科学大学 海洋エネルギー研究センター、株式会社ながさきMICE

後援

長崎県、長崎県教育庁、長崎海洋産業クラスター形成推進協議会
(長崎海洋アカデミー)、佐世保工業高等専門学校

協力

日本海事協会、エンジニアリング協会、WFO、Carbon Trust

※法人格表記省略



第108回 海洋教育フォーラム

浮体式洋上風力は、今、どこまで来ているのか？ ～世界と日本の動き、そして私たちの未来～

昨年6月、再エネ海域利用法の改正法が成立し、洋上風力発電設備をEEZにも設置可能とする法律が整備されるとともに、今年、2025年8月8日には、洋上風力産業ビジョン(第2次)として、政府と民間が一体となって取り組む「浮体式洋上風力等に関する産業戦略」が策定されました。今、欧州や東アジアを中心に、浮体式の洋上風力の拡大に向けた新たな動きが加速しています。

全国に先駆けて浮体式洋上風力の商用化が実現する長崎から、国内外の新たな動きを学び、私たちの未来を若い世代とともに考えます。

基調講演

我が国の洋上風力政策について(仮)

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 風力事業推進室 室長 福岡 功慶

講演①

浮体式洋上風力発電への ジャパンマリンユナイテッドの取り組み

ジャパンマリンユナイテッド株式会社
海洋・エンジニアリング事業部 理事 秋永 清

講演②

洋上風力・グローバルマーケットへのチャレンジ ～日揮株式会社の取り組み～

日揮株式会社 執行役員 本部長代行 工務統括本部 勝岡 洋一

講演③

浮体式洋上風力発電の導入促進に資する 次世代技術の開発 ～TLP型ハイブリッド浮体式洋上風車支持構造物の開発～

株式会社大林組 理事 生産技術本部 統括部長 栗本 卓

総合討論

浮体式洋上風力へのチャレンジ・若い世代に向けて

ファシリテーター IACOW 副代表 森田 孝明

- ・IACOWの取り組みと総合討論のねらい
- ・壇上の講演者と学生パネラー、そして会場の皆さんとの討論

もっと海を知れば、
もっと広い未来が
描けるはず。



プログラム

13:00	開会あいさつ
13:05	主催者あいさつ・活動紹介
13:25	基調講演
14:10	講演①
	休憩10分
14:50	講演②
15:20	講演③
	休憩10分
16:00	総合討論
17:30	閉会あいさつ
18:15	閉場